

大腸菌由来グリセロール-3-リン酸脱水素酵素、組換え

Cat. No. NATE-1904

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

α-グリセロホスフェート脱水素酵素は、ジヒドロキシアセトンをグリセロールリン酸に置換する反応を触媒します。

用途

この酵素は、グリセロールキナーゼと結合することで、グリセロールおよびトリグリセリドの酵素的測定に役立ちます。

別名

α-グリセロールリン酸脱水素酵素 (NAD); α-グリセロリン酸脱水素酵素 (NAD); グリセロール1-リン酸脱水素酵素; グリセロールリン酸脱水素酵素 (NAD); グリセロリン酸脱水素酵素 (NAD); ヒドログリセロリン酸脱水素酵素; L-α-グリセロールリン酸脱水素酵素; L-α-グリセロリン酸脱水素酵素; NAD-α-グリセロリン酸脱水素酵素; NAD依存性グリセロールリン酸脱水素酵素; NAD-L-グリセロール-3-リン酸脱水素酵素; NAD連結グリセロール3-リン酸脱水素酵素; NADH-ジヒドロキシアセトンリン酸還元酵素; グリセロール-3-リン酸脱水素酵素 (NAD); EC 1.1.1.8; 9075-65-4; α-GDH

製品情報

由来

大腸菌

外□

凍結乾燥された

EC番号

EC 1.1.1.8

CAS登□番号

9075-65-4

分子量

ca. 73,600; Subunit molecular weight : ca. 36,800.

比活性

7 U/mg タンパク質以上

pH安定性

6.5 - 10.0

最適pH

9

熱安定性

80 °Cまでの活動の減少は示されません。

ミカエリス定数

(90 mM ビシン緩衝液 pH 9.0、37 °Cにて) グリセロール-3-リン酸: 0.119 mM;
NAD+: 0.036 mM。

単位定義

1単位の活性は、37°Cで1分間に1μmolのNADHを生成するG3PDHの量として定義されます。

反□

グリセロール-3-リン酸 + NAD+ ↔ ジヒドロキシアセトン 3-リン酸 + NADH + H+

保管・発送情報

保存方法

-20 °Cで少なくとも1年間安定しています。